

しい あずまCていね

『協議体』って
(生活支援推進連絡会)
なんだろう？



地域の「支え合いづくり」について、話し合う場のことです。

メンバー構成は、町内会、民生委員・児童委員、老人クラブ、NPO法人、地域包括支援センター、介護予防センター、地域企業などになります。

例えば、介護保険制度ではヘルパーさんに頼むことができない「電球の交換」や「仏壇の掃除」など、日常生活の困りごとを地域の中で、解決する方法について、話し合いをすすめていきます。



手稲中央地区で協議体を開催しました！



7月10日(水)、手稲コミュニティセンターにて、協議体を開催しました。

手稲山に近い地理的特徴から、これまでも、特に買い物についての困りごとが多く聞かれたため、関係機関の皆様と意見交換を行いました。

「宅配サービスを利用しているけれど、やはり自分の目で見て品物を選びたいのでは?」、「高齢者ドライバーによる事故のニュースを見て、免許の返還を考えたが、買い物に行けなくなるのも困る」などの意見が挙がり、「地区

内の高齢者を対象に、買い物を中心としたアンケート調査を実施」することになりました。

また、担い手不足を解消するため、「学生や子育て中のお母さんなど、様々な世代の方に加わってもらいたい」といった意見もあり、「地区内での担い手・ボランティア養成講座を開催」することになりました。

これからも、手稲中央地区では『支え合い体制づくり』に向けて、話し合いを重ねていきます。

こんなふうに、地域で支え合う仕組みづくりを目指していきます。
地域を回って歩いている生活支援推進員に、皆さんのお声を聞かせてください。

*高齢者の暮らしに役立つ情報を掲載しています。下記のように検索してください。



せいかつし えんすいしんいん み て ある き 生活支援推進員 見て歩記



生活支援体制整備事業(地域で支え合うしくみづくり)を進めるために、地域で暮らす皆さんの日々の暮らしの中で、『気になること』・『困っていること』・『こんな風にできたら』ということを探ねて歩き、『支え合い』のお手伝いをするのが、生活支援推進員です。

富丘西宮の沢地区 ふれあい いきいきサロン【9月6日(水) 富丘西宮の沢会館】



今回は、富丘西宮の沢地区で開催された『いきいき元気教室』を訪問しました！

当日は、年に1度しかない山本 敏末トレーナーが講師を務める日だったこともあり、40名の方が参加し、北海道ゆかりの歌手の曲に合わせて、『踊る体操』を行いました。ただ身体を動かすだけでなく、音楽に合わせて、楽しみながら、運動ができるので、歌と体操が好きな方にオススメしたいプログラムでした。参加した皆さんは、なじみの曲を聴いて、歌詞を口ずさみながら、元気に身体を動かし、「来年の開催まで元気でいなきゃ！」と意気込む方もおり、会場は心地よい汗と笑顔で、大きく盛り上がっていました。

新しく生活支援コーディネーターに就任しました！

7月より、『前田地区、新発寒地区、富丘西宮の沢地区』を担当させていただくことになりました、若澤(わかさわ)です。これから皆様が活動されている地域にお伺いさせていただきますので、よろしくお祈いします！



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会
住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階
電話 (011)681-2644 FAX (011)684-8560
手稲区社協ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/teine>